

平成 24 年度

事業報告並びに決算書

社会福祉法人牧之原市社会福祉協議会

【1】 概 況

昨今、社会情勢や社会を取り巻く環境は大きく変化しており、地域福祉の重要性が改めて叫ばれております。

このような中、社会福祉協議会は、その使命である「地域福祉の推進」という役割を果たすべく、市民の福祉ニーズに立脚した福祉事業の展開や住民参加による地域福祉活動の推進を図ると共に、福祉サービスを必要とする人々が安心して生活できる社会・福祉コミュニティづくりを推進する必要があります。

牧之原市社会福祉協議会では、市民、自治会、民生委員児童委員協議会や福祉団体などの多くの皆様のご理解とご協力により、「ふれあいを大切にした 生涯安心して暮らすことのできる まちをつくろう」を基本目標に各種事業に取り組み、平成24年度事業を終了することができました。

地域福祉事業については、地区社協活動への支援に重点をおき、地区代表者連絡会に市外の地区社協関係者を講師に迎え、地区社協活動についての講演を行い、地区代表者に地区社協活動についての理解を深めていただきました。また、地域福祉活動を財政面から支えるため、地域福祉事業補助金の交付方法を見直し、25区に対し補助金を交付すると共に、新たに地区社協を中心とする団体に「地域の支え合い体制づくり事業補助金」を創設し、活動の活発化を図りました。

さらに、福祉教育の円滑な充実を図るため、福祉教育学校・施設連絡会を開催し、社協と学校、施設との情報の共有化を行うと共に、職員が積極的に学校に出向き福祉体験や講話などを行い、福祉への気づきや主体的な取り組みへと発展させるための支援を行いました。

相談援助事業については、特に日常生活自立支援事業が4月より基幹的社協となったことで、利用者の訪問や調査を行うこととなり、関係機関と連携し利用者の増加を図りました。また、認知症高齢者をはじめとする日常生活に不安がある利用者に対して、福祉サービスの利用手続きや日常的金銭管理、公共料金等の支払い手続きなどの個別支援を行うと同時に、その家族が抱える問題の解決に向けたコーディネートを進め、住み慣れた地域で安心して生活できるための援助を行いました。

在宅福祉事業では、4年目を迎えた地域包括支援センターさがらが、高齢者の生活を地域で包括的・継続的に支えていくために多職種が力を合わせ、時には行政、民生委員児童委員、病院など外部の専門的な方々と協働し、様々な生活課題の解決に取り組むとともに、その人らしい生活が送れるように支援しました。福祉の相談件数も増えてきており、中でも認知症・多問題家族への相談及び対応が増加しています。そんな中、相談ニーズから介護保険制度では対応できないケースに対応するため、相良・榛原両ホームヘルプサービス事業所が自費で利用できるサービスを8月から開始しました。また、障がい者生活支援センターを平成25年4月に開所するにあたり、約1年かけ立ち上げ準備委員会を開催し、立ち上げと運営がスムーズに行えるようにしてきました。名称も「生活支援センターつばさ」と決まり、牧之原市の障がい者の生活が今以上に羽ばたいてもらえるように努力していきます。

介護事業では、「居宅介護支援事業」「訪問介護事業」「通所介護事業」を実施し、介護保険制度・障害者総合支援法に基づき、利用者の意思及び人格を尊重し、利用者の立場に立った適切な介護の提供に努め、在宅での自立した生活が営むことができるように支援しました。また、低所得者の方には、利用料を減免することにより利用しやすくしています。しかし、この事業には課題もあります。それは職員の確保です。幸いにも現在は法定数以上の人員を確保できていますが、先を見据えた場合スタッフの高年齢化が目立つようになってきました。団塊の世代が65歳を迎える2015年の前に、新規のスタッフを確保し、現在のベテランスタッフが在籍している間に技術の継承をしていくことにより、いつでも質の高いサービスを提供できるように図っていきたいと考えています。

この他、防災対策として、相良居宅介護支援事業所及び相良ホームヘルプサービス事業所が、相良港向かいにある老人会館にあった事務所を、津波の心配のない相良バスターミナル付近へ移転しました。また、介護職員処遇改善交付金事業は前年度で終了となりましたが、今年度からは介護保険料の加算となり、職員の処遇改善については前年度と変わらず継続して行っております。

また、平成24年4月から牧之原市相良総合センターの管理業務の一部を牧之原市から受託し、利用者の増加を図りました。

【2】 主要事業

1. 安心して暮らせる未来のまちづくり

(1) 相談事業の充実

悩みごとや心配ごとを持つ方が気軽に相談できる窓口を設置し、総合相談及び援助活動を行った。

種 類	開 設 日	場 所	相 談 活 動 の 内 容
福祉総合相談	月～金曜日 (8:15～17:00)	相良総合センター	社会福祉協議会の職員が様々な福祉の相談にあたった。
	月～金曜日 (8:15～17:00)	老人福祉センター	
心配ごと相談	毎月第2水曜日 (9:00～11:30)	市民相談センター	住民からの多様な相談に対応するため、民生委員児童委員と司法書士が相談にあたった。 ●主な内容 財産
	毎月第4水曜日 (9:00～11:30)		
法律相談	毎月第1水曜日 (10:00～15:00)	市民相談センター	住民からの多様な相談に対応するため、弁護士、人権擁護委員、行政相談員が相談にあたった。 ●主な内容 財産、離婚、人権・法律
	毎月第3水曜日 (10:00～15:00)		

開設日数・延数	相談事項と件数																			
	生計	年金	職業・生業	住宅	家族	結婚	離婚	健康・衛生	医療	精神衛生	人権・法律	財産	事故	児童福祉・母子保健	教育・青少年	障がい児者福祉	母子・父子福祉	老人福祉	苦情	その他
開設日数 心配 24日 法律 24日																				
延べ件数 心配 59件 法律 155件 計 214件																				
市民相談センター	心	2	1	2	2	6	0	5	1	0	0	5	32	1	0	0	0	0	0	2
	法	1	0	9	10	10	1	32	2	4	0	27	44	4	0	0	1	0	0	10
合計	3	1	11	12	16	1	37	3	4	0	32	76	5	0	0	1	0	0	0	12

種類	開設日	場所	相談活動の内容
結婚相談	7月28日(土)	ハーブバーン (吉田町)	50歳までの独身男女を対象に、素敵な出逢い「ラッキーパーティー2012」を開催した。 ●参加者(男性)18人(女性)19人 カップル成立2組
	11月10日(土)	CACHE CACHE (牧之原市)	50歳までの独身男女を対象に、素敵な出逢い「ラッキーパーティー2012」を開催した。 ●参加者(男性)10人(女性)9人 カップル成立0組
	2月16日(土)	ハーブバーン (吉田町)	50歳までの独身男女を対象に参加者を募集したが、女性の参加者が少なく中止した。

(2) 情報提供の充実

① 社協広報紙「ふくしだより」の発行(12回)

福祉意識の啓発と社会福祉協議会の活動を市民に理解してもらうため、A4版4面の「ふくしだより」を毎月15日に自治会を通じて発行した。

【年間発行部数】169,200部(1ヶ月14,100部)

② ホームページの充実

社協事業の報告やイベント情報等をホームページに掲載し一般市民へ提供した。また、広報委員会を立ち上げ内容を検討し、ホームページをリニューアルし掲載内容の充実を図った。

【アドレス】<http://www.makinohara-shakyo.jp>

(3) 人権対策の充実

① 日常生活自立支援事業（権利擁護事業）

判断能力が十分でない方が、できるだけ住み慣れた地域で自立して生活できるように、福祉サービスの利用援助や日常的金銭管理サービスを実施した。

【専門員の配置】2人（兼務）

【生活支援員の配置】10人

【相談及び契約件数】

区 分	本事業の利用に関するもの				その他	合計
	認知高齢者	知的障害者	精神障害者	その他		
相談件数	124	127	113	67	0	431
契約締結件数	2	0	2	0	0	4
実働件数	4	4	2	2	0	12

※実働件数は平成25年3月末現在

【訪問調査回数】13回

(4) 福祉サービスの充実

① 福祉車両貸出事業

【相 良】

マイクロバス

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
回 数	15	16	17	13	7	13	19	22	15
延べ人数	306	321	314	266	101	244	342	426	271

1月	2月	3月	合計
15	14	10	176
285	302	188	3,366

キャラバン（福祉車両）

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
実人数	1	0	0	0	0	0	0	0	0
延べ人数	1	0	0	0	0	0	0	0	0

1月	2月	3月	合計
0	0	1	2
0	0	1	2

ワゴンR（福祉車両）

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
実人数	6	5	4	4	3	3	6	4	7
延べ人数	11	13	9	14	9	5	8	13	11

1月	2月	3月	合計
7	6	6	61
10	10	8	121

デミオ（福祉車両）

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
実人数	7	8	7	6	6	6	4	4	4
延べ人数	19	21	15	17	17	16	15	13	5

1月	2月	3月	合計
8	2	6	68
13	2	9	162

〔様 原〕**ハイエース**

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
回 数	3	9	12	10	3	6	10	8	7
延べ人数	60	25	55	28	9	18	42	32	31

1月	2月	3月	合計
3	7	11	89
16	30	17	363

ハイエース（福祉車両）

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
実人数	1	3	6	3	5	7	4	5	9
延べ人数	3	4	12	10	9	8	5	6	9

1月	2月	3月	合計
4	1	8	56
5	1	12	84

ファンカーゴ（福祉車輛）

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
実人数	13	12	12	12	15	12	11	10	12
延べ人数	56	69	62	61	66	57	53	52	46

1月	2月	3月	合計
11	11	12	143
60	74	59	715

AZワゴン（福祉車輛）

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
実人数	6	6	8	7	6	5	7	4	4
延べ人数	9	9	11	11	10	5	10	7	5

1月	2月	3月	合計
3	4	1	61
3	4	1	85

② 心身障がい児（者）通園費補助事業

牧之原市内に居住し、心身障がい児（者）施設へ通う在宅心身障がい児（者）へ、1ヶ月1,000円の施設通園（所）費補助を行った。

【前期】130人（715,000円）

【後期】126人（702,000円）

③ ひとり暮らし高齢者給食サービス

相良地区（17回）

相良地区では、70歳以上の虚弱なひとり暮らし高齢者及び高齢者世帯44人を対象に、200円の利用料で月2回ボランティア連絡会の調理部会が作った弁当を配食部会が民生委員児童委員宅へ配り、民生委員児童委員から高齢者宅へ配食した。

【配付した弁当の延べ数】664食

榛原地区（17回）

榛原地区では、70歳以上の虚弱なひとり暮らし高齢者及び高齢者世帯30人を対象に、200円の利用料で月2回オムレツくらぶが作った弁当を配食ボランティアが高齢者宅へ配食した。

【配付した弁当の延べ数】525食

④ ひとり暮らし高齢者ふれあい食事会

相良地区（2回）

70歳以上のひとり暮らし高齢者を対象に、ボランティア連絡会の社協部会と調理部会の協力によ

り、会食方式の食事会を実施し、参加者同士やボランティアとの交流により楽しい時間を過ごした。

【第1回／6月29日】相良総合センターい〜ら 23人

(内容) 防犯指導員・交通指導員のお話、絵手紙作り

【第2回／11月8日】相良総合センターい〜ら 29人

(内容) 掛川道の駅でお買い物、石上 清氏によるレクリエーション

榛原地区（2回）

70歳以上のひとり暮らし高齢者を対象に、調理ボランティアのオムレツクラブの協力により、会食方式の食事会を実施し、参加者同士やボランティアとの交流により楽しい時間を過ごした。

【第1回／6月13日】総合健康福祉センターさざんか 41人

(内容) 防犯指導員・交通指導員のお話、絵手紙作り

【第2回／11月28日】総合健康福祉センターさざんか 47人

(内容) 掛川道の駅でお買い物、石上 清氏によるレクリエーション

福祉資金貸付事業

相談件数（関係機関含む）

【電話による問合せ】72件 【来所】56件

① 県生活福祉資金貸付事業

利率は資金の種類によって無利子から年3%、償還期間は2ヶ月から20年以内とする。

種 類	貸付限度額	区分	現年度 貸付額	過年度 貸付額	償還額	繰越 滞納額
福祉資金	580万円以内	金額	0	1,065,000	97,120	967,880
		件数	0	6	3	6
緊急小口資金	10万円以内	金額	576,000	780,000	453,250	902,750
		件数	9	16	6	19
教育支援資金	50万円以内	金額	500,000	35,175,800	2,634,900	33,040,900
		件数	1	22	15	20
不動産担保型 生活資金	月30万円以内	金額	0	0	0	0
		件数	0	0	0	0
総合支援資金	60万円以内	金額	2,117,083	9,724,190	557,940	11,283,333
		件数	6	29	9	35
臨時特例つな ぎ資金	10万円以内	金額	0	170,000	0	170,000
		件数	0	2	0	2
合 計		金額	3,193,083	46,914,990	3,743,210	46,364,863
		件数	16	75	33	82

② 市福祉資金貸付事業

利率は無利子、償還期間はいずれの資金も1年以内とする。

種 類	貸付限度額	区分	現年度 貸付額	過年度 貸付額	償還額	繰越 滞納額
一般資金	10万円以内	金額	88,000	602,250	57,000	633,250
		実件数	2	9	3	10
高額療養資金	100万円以内	金額	0	0	0	0
		実件数	0	0	0	0
介護保険資金	20万円以内	金額	0	0	0	0
		実件数	0	0	0	0
合 計		金額	88,000	602,250	57,000	633,250
		実件数	2	9	3	10

(5) 介護サービスの充実

① 施設入浴サービス事業

【相良地区】

心身障がい者で入浴を希望する方を、ホームヘルパーが4人体制で送迎から入浴介助までを、相良デイサービスセンターの特殊浴槽を使い入浴を行った。

区 分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
心身障がい者施設入浴	回数	44	50	51	49	60	60	68	54
	人数	8	8	8	8	9	9	9	9

12月	1月	2月	3月	合計
54	52	46	49	637
10	10	9	8	105

【榛原地区】

心身障がい者で入浴を希望する方を、ホームヘルパーが4人体制で送迎から入浴介助までを、デイサービスセンターうたりの特殊浴槽を使い入浴を行った。

区 分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
心身障がい者施設入浴	回数	16	19	20	24	21	16	18	21
	人数	3	3	4	4	4	3	3	3

12月	1月	2月	3月	合計
19	19	19	20	232
3	3	3	3	39

② 移動支援事業

屋外での移動が困難な障がい者等について外出のための支援を行った。

【移動支援事業 相良】

区 分			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
18歳 以上	身体介護あり	時間	32.5	31.0	41.5	39.0	46.0	46.0	47.0
	身体介護なし	時間	25.5	31.25	35.0	24.5	24.25	21.25	24.5
	人 数		10	9	11	9	10	11	10
18歳 未満	身体介護あり	時間	0	0	0	0	0	0	0
	身体介護なし	時間	0	0	0	0	0	0	0
	人 数		0	0	0	0	0	0	0

11月	12月	1月	2月	3月	合計
44.5	28.5	26.5	15.5	28.0	426.0
13.0	14.0	14.0	25.5	32.0	284.75
10	10	9	11	8	118
0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0

【移動支援事業 榛原】

区 分			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
18歳 以上	身体介護あり	時間	14.5	13.0	11.0	12.0	8.5	8.5	24.5
	身体介護なし	時間	12.0	15.0	13.0	9.5	14.5	14.5	11.5
	人 数		8	7	7	6	6	6	8
18歳 未満	身体介護あり	時間	0	0	0	0	0	0	1.5
	身体介護なし	時間	0	0	0	0	0	0	0
	人 数		0	0	0	0	0	0	1

11月	12月	1月	2月	3月	合計
17.5	18.5	14.0	12.0	25.0	179
12.0	9.5	7.25	10.0	16.0	144.75
8	7	5	6	7	81
0	0	0	0	0	1.5
0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	1

③ 日常介護用具総合貸与事業の実施

在宅のねたきり高齢者(介護保険認定者以外)や身体障がい者などに介護用具を貸与し、利用者の日常生活の健康増進と家族の介護負担を軽減した。利用者が1割を負担、社協が9割を補助した。

種 類	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
特殊寝台(ベッド)	1	1	1	0	0	0	0	0
床ずれ防止マット	0	0	0	0	0	0	0	0

12月	1月	2月	3月	合計
0	0	0	1	4
0	0	0	0	0

◇特殊寝台(ベッド) 実利用者2人

◇床ずれ防止マット 実利用者0人

④ 生きがいデイサービス事業(あしたか)(受託事業)

原則として、二次予防(運動機能の向上、栄養改善、口腔機能向上及び認知症、閉じこもり、うつ予防)を必要とする高齢者に対して、趣味や体操などの各種サービスを提供し、生きがいのある生活を送る事で、要支援・要介護状態への移行を防止する為の介護予防事業を実施した。

「生きがいデイあしたか」の事業

事業名	生きがいデイあしたか	ひまわり教室	あじさいクラブ	やってみっか塾
開催日	水・金	月・木の 午前 午後	火曜日の午前	火曜日の午後
利用回数	週1回	週1回～2回	月2回	月1回
利用期間	なし	6ヶ月間	1年間	6ヶ月間
利用者数 3月末現在	水 4人 金 9人	月 11人 木 12人	(第1・3)10人 (第2・4)10人	13人

〔一日通所事業 生きがいデイあしたか〕

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
日 数	8	8	9	8	10	8	9	9	8	8
延べ人数	66	54	74	60	79	67	65	69	60	50

2月	3月	合計
8	9	102
48	48	740

〔半日通所事業 ひまわり健康教室〕

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
日 数	8	8	8	8	9	7	8	9	7	7
延べ人数	97	91	61	55	94	94	111	139	140	153

2月	3月	合計
7	8	94
147	173	1,355

【介護予防普及啓発事業①『あじさいクラブ』】 半日通所事業を終了した者等に、定期的な外出の機会を提供し、生活機能の低下を防止する。

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
日 数	1	2	2	4	4	4	4	4	4	3
延べ人数	11	23	24	40	25	30	27	41	37	35

2月	3月	合計
4	4	40
33	38	364

※生活困窮者（生活保護等）については平成22年12月より利用料を免除。

対象者は1名(平成24年5月～7月迄)

【介護予防普及啓発事業②『やってみっか塾』】 地域に出向き、介護予防事業の重要性が浸透するように介護予防普及啓発教室を実施。

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
日 数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
人 数	6	5	9	13	8	8	10	11	11	13

2月	3月	合計
1	1	12
12	12	118

⑤ 機能訓練事業（受託事業）

40歳以上の者で心身の機能が低下している機能訓練が必要な者及び介護保険対象外の者に身体機能の維持と回復のための訓練を行った。

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
回 数	4	4	4	4	4	4	4	4
利用者数	10	11	11	14	11	11	9	12

12月	1月	2月	3月	合計
4	4	4	4	48
11	10	12	10	132

⑥ 包括支援センター事業（受託事業）

平成21年度より相良地区の地域包括支援センターの委託を受け保健師1名、社会福祉士3人、主任ケアマネジャー2人等の3職種等7人を配置した。保健師については市より職員の派遣をうけた。

総合相談支援業務

[月別相談件数]

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
訪 問	59	75	85	68	49	58	91	93	72
来 所	65	50	38	62	70	28	39	30	32
電 話	148	149	134	121	184	135	136	118	118
合 計	272	274	257	251	303	221	266	241	222

1月	2月	3月	合計
85	81	70	886件
42	47	49	552件
154	164	146	1,707件
281	292	265	3,145件

[相談内容件数]

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
介護問題	107	94	89	104	95	86	135	97	94
医療疾患	11	31	13	23	13	10	11	20	19
施設病院	53	69	63	59	60	19	14	25	17
心理的問題	27	21	16	25	5	10	34	41	15
経済的問題	36	39	47	30	38	25	51	32	43
生活問題	96	64	101	125	119	65	131	113	123
その他	25	17	16	14	16	10	44	61	39
実態把握	23	45	36	40	36	38	83	63	62
合 計	378	380	381	420	382	263	503	452	412

1月	2月	3月	合計
129	121	119	1,270件
19	17	37	224件
47	22	48	496件
46	28	24	292件
50	26	23	440件
152	159	159	1,407件
54	40	33	369件
63	67	48	604件
560	480	491	5,102件

[介護者支援]

◇介護者教室（介護者のつどい）

開催日	場 所	内 容
5月26日(土) 9:30~11:30	牧之原市総合健康福祉センターさざんか	ちょこっとヨガ 10人参加(相良7人、榛原3人)
7月28日(土) 9:30~11:30	相良保健センター	おむつ選びに困ったら 10人参加(相良10人、榛原0人)
9月15日(土) 9:30~11:30	相良保健センター	マットレス選びと床ずれ予防 8人参加(相良7人、榛原1人)
11月24日(土) 11:30~13:00	特別養護老人ホーム グレイス	地域密着型特別養護老人ホームってどんな所 17人参加(相良8人、榛原9人)
1月26日(土) 9:30~11:30	牧之原市総合健康福祉センターさざんか	簡単に栄養のとれる食事を作ろう 9人参加(相良4人、榛原5人)
3月23日(土) 9:30~11:30	相良保健センター	認知症の家族と暮らすこと 14人参加(相良10人、榛原4人)

◇リフレッシュ旅行

開催日	行 き 先
H24. 10. 26	秩父宮公園、御殿場高原ビール 参加者 10名(相良7人、榛原3人)
H25. 1. 18	久能山東照宮、三保のホテル(昼食)参加者 14名(相良12人、榛原2人)

包括的継続的ケアマネジメント支援業務

◇会議への参加

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
地域ケア会議	2	2	2	2	2	2	2	2	2
主任ケアマネ会議	1	1	1	1	0	1	1	1	1

1月	2月	3月	合計
2	2	2	24回
1	1	1	11回

◇研修

開催日	場 所	内 容
6月15日(金) 13:00~17:00	相良総合センター い〜ら	「質問力」で深める相談支援の技術 72人 ケアタウン総合研究所 高室成幸氏
10月11日(木) 9:30~15:30	老人福祉センター	新人ケアマネ研修 新人3人
11月14日(水) 午前・午後	牧之原市総合健康福祉センターさざんか	ケアマネジャー研修 事例検討会〈4グループ〉 ケアマネジャー参加37人・保健師4人

◇ 民生委員との交流会 11月14日（4部会）

民生委員参加者 37人 ケアマネジャー参加者 27人

介護予防ケアマネジメント業務

◇二次予防事業プランの作成

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
件数	1	2	1	14	11	5	19	8	7	4

2月	3月	合計
3	7	82件

◇予防給付プランの作成

【さがら介護予防支援事業所】

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
直接	49	53	52	54	48	50	48	46	42	51
委託	84	82	85	85	90	87	84	85	87	73

2月	3月	合計
49	50	592件
73	74	989件

（6）災害時援護活動の充実

① 関係機関とのネットワーク活動（牧之原市社協災害対策マニュアルの整備）

東日本大震災を踏まえ、地震等の災害時に社協職員が迅速に対応できるようマニュアルを整備し、職員に周知を図った。また、社協職員全体研修会で災害ボランティアセンター立ち上げ訓練、特例貸付業務訓練を実施し、現状の防災体制や今後に向けた改善点などの協議を行った。

【8月22日】老人福祉センター 45人

【2月28日】相良総合センターい〜ら 40人

② 災害後の支援体制の確立

大規模災害に備え、県内市町社協との支援体制の強化に努めると共に、災害時の教訓を生かしたネットワークや体制整備を行っていた。5月には榛原地区の退職校長親和会の総会で、東日本大震災の現状や地域社会、地域福祉のあり方について講演を行った。

【5月12日】教育会館 70人

③ 牧之原市ボランティア連絡会主催の防災講座への協力

行政及び市内団体・組織の防災への取り組みや災害への備え、係わり合いを学び東海地震に備えての災害への意識を深めると共に、災害時のボランティアの必要性や活動への理解・参加を図ることを

目的に開催された、市民対象の防災実践講座で社協としての防災への取り組みについて報告した。

【9月8日】総合健康福祉センターさざんか 69人

④ 災害支援活動あり方検討会への職員派遣（県社協）

東日本大震災に係る被災地支援及び静岡県内における東海地震等大規模災害への対応を、静岡県社協と市町社協が協働して実践することを目的に設置された「災害支援活動あり方検討会」に職員を1人派遣した。その中で、県内のボランティア体制やフォローの具体的な仕組み、県内避難者への支援活動について協議を行った。

【派遣期間】5月1日～3月31日

【検討会】2回

（7）子育て支援の充実

① 子育て支援冊子の配布・活用

子育て中の保護者が楽しく安全な生活ができるよう、関係機関と協働で作成した保健・福祉サービスや施設等の情報満載の「パパママだいじょうぶつく」を配布し、活用してもらえるようPRした。前回の更新では、保健・福祉サービスや施設等の情報を更新したので、本年度はそれらの内容も含め、冊子の検証を行った。

【発行部数 800部】

② のびのび子育て井戸端会議の充実

子育て中の母親達の交流の場として、また子どもに安心して楽しく遊べる場を提供するなど、子育てを支援するために主任児童委員やボランティアの協力をいただき開催した。

【参加者】288組の親子（延べ604人／大人288人・子ども316人）、中高生ボランティア4人

③ 児童館まつりに参加

相良児童館、榛原児童館を会場に、子ども達のふれあいや地域の交流を目的に開催された児童館まつりに、社協からは夏休みのボランティア体験の機会を兼ね、模擬店（ポップコーンづくり）に参加した。

【8月4日】相良児童館 参加者（小学生）6人

【8月4日】榛原児童館 参加者（小・中学生）3人

2. 共に助け合う地域づくり

（1）地域福祉活動の支援

① 地区社会福祉協議会（地区社協）の充実

地区代表者連絡会（2回）

各地区相互の情報交換や地域福祉活動の活性化と促進を図ることを目的として、地区代表者による連絡会を開催した。

【第1回／7月5日】相良総合センターい～ら 参加者76人

講演「地区社協活動を通じて」

講師 島田市第三小学校区地区社会福祉協議会 会長 鈴木 喬治氏
企画委員長 鈴木 誠司氏

【第2回／3月1日】相良総合センターい〜ら 参加者 67人

講演「新たな地域のつながりと支え合いを目指して」

講師 日本社会事業大学社会福祉学部福祉計画学科 専任講師 菱沼 幹男氏

② 三世代交流事業の充実

子どもから高齢者までが世代間の交流を図ることを目的として、ボランティアの協力によりゲームや体験等の交流事業を開催した。

【8月5日】相良総合センターい〜ら 参加者 80人

(内容) ふれあいゲーム大会、福祉〇×クイズ等

【3月2日】総合健康福祉センターさざんか 参加者 51人

(内容) 家族みんなで協力してウィナー作りを体験

③ 生き生き塾（6回）

市内の概ね60歳以上の方を対象に、高齢者の生きがいや潤いのある生活づくりの手助けをすることを目的に様々な内容の講義や実技を実施し、延べ121人が参加した。

【前期第1回／7月20日】相良いきいきセンター 参加者 19人

(内容) アコーディオン鑑賞会

【前期第2回／8月17日】相良いきいきセンター 参加者 21人

(内容) こけ玉作り

【前期第3回／9月21日】老人福祉センター 参加者 20人

(内容) おしゃもじ作り

【後期第1回／10月19日】榛原総合病院 参加者 18人

(内容) 健康に暮らそう

【後期第2回／11月9日】磐田市国史跡見付学校 参加者 19人

(内容) 秋のおでかけ

【後期第3回／12月5日】総合福祉健康センターさざんか 参加者 24人

(内容) キャンドル作り

④ “地域の福祉力”推進モデル事業の実施（萩間地区）

地域における支え合い（共助）の仕組みづくりを推進し、幅広い協働による地域福祉活動を促進することを目的に、平成22年度から“地域の福祉力”推進モデル地区に萩間地区が指定され、様々な取り組みを行ってきた。

モデル地区としての指定は終了したが、その後も地域内の生活課題を解決する手段の一つとして、住民が主体となって取り組む地区社協活動について学習するため、先進地を視察し、意見交換を行った。

【7月17日】藤枝市稲葉地区社会福祉協議会 22人

⑤ 地域のセーフティーネットを支える社会貢献事業の実施

既存制度では対応できない人、制度の狭間にいる人、重複した生活課題を抱える人等、支援が必要な人々に対し、相談支援や自立した生活を支援するために、社会福祉施設（相良清風園）と社協、萩間地区民生委員児童委員が協働し、支援の仕組みづくりや多様化・複雑化する福祉課題について検討した。

【12月12日】相良総合センターい〜ら 参加者 19人

意見交換会（萩間地区民生委員児童委員、相良清風園、県社協、菊川市社協、牧之原市社協）

【3月12日】相良総合センターい〜ら 参加者 14人

意見交換会（萩間地区民生委員児童委員、相良清風園、牧之原市社協）

⑥ 地区福祉映画上映会の実施

波津区との共催により、福祉映画を上映することで地域福祉活動に参加するきっかけや地域の人たちの顔合わせする場づくりを図った。

【3月10日】波津区コミュニティセンター 参加者 58人

（内容）映画「生きる行動・生きる備え」、朗読の会「語り（かたくり）」

（2）ボランティア活動等市民活動の推進

① ふれあい・いきいきサロン事業の充実（38サロン）

各区でのふれあい・いきいきサロン事業の充実及び支援を図った。それによって、地域住民と高齢者等との交流が活発になった。

区分	相良・福岡区	地頭方区	波津区第2ブロック	新庄区	波津区第1ブロック
名称	生き生きクラブ	はつらつクラブ	ほのぼの会	憩いクラブ	にこにこ会
開設年月	平成9年6月	平成10年6月4日	平成11年7月4日	平成11年9月8日	平成11年9月19日
開催日	毎月2回 第1・3月曜日	毎月2回 概ね第1・第3木曜日	毎月1回 第1日曜日	毎月1回 概ね15日	毎月1回 第3金曜日
開催時間	13:00～15:00	13:30～15:30	9:30～11:30	13:30～15:00	9:30～11:30
場所	相良区コミュニティ防災センター	地頭方区公民館	波津コミュニティセンター	トーク地頭方	静和会館
対象者	相良・福岡区及び近隣地区の70歳以上の虚弱老人、一人暮らしの高齢者	地頭方区内に居住の80歳以上の希望者	75歳以上の方	区の高齢者	概ね70歳以上の方
参加者(延)	496人	416人	352人	350人	246人
協力員(延)	340人	148人	39人	58人	55人
代表	植田 六郎	櫻井壽恵男	小澤 幸吉	佐藤 美保子	西藤 絹代

区分	大沢区	白井区	須々木区	片浜区	波津区第3ブロック
名称	もんじゅの会	白井クラブ	お元気クラブ	ふれあいクラブ	ほほえみ会
開設年月	平成11年10月8日	平成11年12月16日	平成12年4月7日	平成12年8月22日	平成12年8月30日
開催日	毎月1回 第3金曜日	毎月1回 第3木曜日	毎月1回	毎月1回 15日	毎月1回 30日
開催時間	13:30～15:30	13:00～15:00	13:30～15:30	9:00～11:30	9:00～11:30
場 所	大沢公民館	白井公民館	須々木区民館	片浜防災センター	波津区公会堂
対象者	概ね70歳以上の 方	60歳以上の方	区の75歳以上の 方	区の高齢者	第3ブロック内の 高齢者 (歩行可能のこと)
参加者(延)	242人	362人	237人	167人	126人
協力員(延)	90人	40人	107人	64人	77人
代 表	高橋 良夫	藤野 昌孝	矢部 友英	森田 良晴	羽田 智行

区分	西萩間区	大江区	菅山区	牧之原区	遠渡区
名称	子生れクラブ	大海老会	油会クラブ	茶の実クラブ	サンサンクラブ
開設年月	平成12年9月15日	平成13年3月	平成13年3月	平成14年2月26日	平成14年5月26日
開催日	毎月1回 第3水曜日	毎月1回 第1木曜日	毎月1回 20日	毎月1回 第3火曜日	毎月1回 第1日曜日
開催時間	13:30～15:30	13:30～15:30	13:30～15:30	13:30～15:00	13:00～15:00
場 所	西萩間公民館	大江区民会館	菅山区公民館	牧之原区民センター	遠渡公民館
対象者	区の高齢者	区の高齢者	区の高齢者	65歳以上の方	区の高齢者
参加者(延)	283人	554人	278人	201人	307人
協力員(延)	44人	66人	145人	111人	134人
代 表	萩原 昭文	矢部 明弘	蓮池 睦男	福田 稔	松下 律子

区分	豊岡区	落居区	東萩間区(上)	東萩間区(下)	中里区
名称	いきいきサロン豊岡	落ち合いサロン	笑和クラブ	いきいき東	にっこりサロン
開設年月	平成14年5月29日	平成14年9月30日	平成14年10月11日	平成14年10月11日	平成15年1月
開催日	毎月1回 15日	毎月1回 15日	毎月1回 1日又は第2水曜日	毎月1回 概ね15日(農繁期中止)	毎月1回 第2金曜日
開催時間	13:30～15:30	13:30～15:00	9:00～12:00	9:00～11:30	13:30～15:30
場 所	豊岡公民館	落居公民館	東萩間上公民館	東萩間下公民館	萩間公民館
対象者	区の高齢者	区の高齢者	上区の高齢者	下区の高齢者	区の高齢者
参加者(延)	263人	427人	192人	310人	207人
協力員(延)	48人	72人	40人	58人	51人
代 表	小川 弘廣	植田 利夫	澤村 章二	永田 康弘	藤野 勝裕

区 分	神寄区(大寄)	神寄区(女神)	波津区第4ブロック	勝間田区	静波区
名 称	大の字クラブ	すこやかクラブ	ハッピークラブ	ほがらかサロン	すこやかサロン
開設年月	平成15年1月	平成15年1月	平成15年7月1日	平成11年5月	平成13年5月
開催日	毎月1回 第4水曜日	毎月1回 第2金曜日	毎月1回 第1火曜日	毎月4～5回 毎週木曜日	毎月2回 第1・3火曜日
開催時間	13:30～15:30	13:30～15:30	10:00～12:00	9:00～11:00	9:30～11:30
場 所	大寄地区公民館	女神公民館	大原公民館	勝間田会館	老人福祉センター
対象者	区の高齢者	区の高齢者	60歳以上の方	65歳以上の方	65歳以上の方
参加者(延)	127人	239人	157人	2,171人	203人
協力員(延)	38人	36人	45人	235人	90人
代 表	増田 昇平	八木 芳一	水野 隆	大関小佳枝	大石 美春

区 分	川崎区	坂部区	細江区	勝間田区	川崎区
名 称	仁田スミレ会	坂部ふれあいサロン	はつらつサロン東福	サロンマカミ	橋向高齢者の集い
開設年月	平成13年11月	平成14年4月	平成14年6月	平成14年9月	平成15年10月
開催日	毎月1～2回 第3日曜日	毎月3回 第1・2・3金曜日	毎月1回 第3水曜日	毎月1回 第1土曜日	毎月1回 第4水曜日
開催時間	9:00～11:30	9:00～11:30	9:30～11:30	9:00～11:30	11:00～13:00
場 所	仁田老人憩いの家	坂部区民センター	東福田公会堂	間上憩の家	橋向公民館
対象者	65歳以上の 高齢者	65歳以上の坂部 区民	高齢者	80歳以上の方	65歳以上の一人 暮らしの高齢者 (障がい者も)
参加者(延)	135人	1,155人	127人	71人	445人
協力員(延)	50人	301人	92人	12人	55人
代 表	永田 政子	吉添 悦子	大井 照恵	鈴木 常夫	柴本 榮

区 分	細江区	静波区	細江区	静波区	細江区
名 称	時ヶ谷サロン	サロンのぞみ	東慶林ふれあいサロン	ふれあいサロン3丁目	堀の内草の実サロン
開設年月	平成19年12月	平成20年2月	平成20年7月	平成20年4月	平成21年2月
開催日	毎月1回 第3月曜日	毎月2回 第2・第4金曜日	毎月1回 第1木曜日	毎月1回 第4水曜日	毎月1回 第3火曜日
開催時間	9:30～11:30	13:30～15:00	10:00～12:00	10:00～11:30	13:30～15:30
場 所	時ヶ谷公民館	静波コミュニテ ィ防災センター	休会	3丁目公会堂	堀之内研修センター
対象者	時ヶ谷町内70歳 以上の居住者	区内の高齢者	地域の65歳以上 の高齢者	町内会の65歳以 上の方	高齢者
参加者(延)	294人	351人	274人	205人	192人
協力員(延)	54人	73人	49人	21人	39人
代 表	原川 正志	大石カヅミ	植田 秋枝	八木 茂雄	飯田 正人

区 分	川崎区	牧之原区
名 称	サロンひまわり	まきのはら いきいき教室
開設年月	平成23年8月	平成8年6月
開催日	毎月1回 第3水曜日	毎月4回 第1～4火曜日
開催時間	13:30～15:30	9:00～12:00
場 所	仁田公民館	牧之原区コミュニ ティセンター
対象者	仁田在住の65歳 以上の方	区内65歳以上の 方
参加者(延)	263人	1,192人
協力員(延)	20人	24人
代 表	大杉 芳枝	後藤 育廣

38 サロン（対象者 参加者延べ13,617人 協力員延べ3,017人）

サロン事業連絡会

牧之原市内のサロン事業の推進を目的にサロン事業連絡会を開催し、各地域のサロン代表者へ事業の趣旨説明を行い、意見交換を行った。

【4月16日】相良総合センターい〜ら 参加者34人

サロン作品展

2月15日～19日の期間、相良総合センターい〜らエントランスにてサロン作品展を実施した。11サロンが出展し、24年度の活動で取り組んだ作品の展示や活動紹介を行い地域の方々へ、ふれあい・いきいきサロン事業について啓発をした。

サロン協力員懇談会

1年間のサロン活動を振り返っての感想や意見交換、相良清風園を講師に招き高齢者とのコミュニケーションや認知症についての理解を深めた。

【3月25日】相良総合センターい〜ら 参加者34人

サロン通信の発行

牧之原市内のサロンを皆さんにもっと広く知ってもらい、サロンの輪がますます広がっていくことを目的に、サロン通信を1回発行した。

② 多様なサロン事業の検討・実施

現在、介護予防を目的に高齢者サロンを中心に展開しているが、現状のサロンの課題解決方法や運営方法、今後の可能性等、状況をいち早く察知するため先進的なサロンを視察した。

【12月4日】サロン代表者視察研修 参加者20人

静岡市清水地区駒越地区社会福祉協議会こまごえサロン・まんがんの会

③ 見守り支援ネットワーク事業の検討・実施

牧之原市の支援が必要な人を支えるための取り組みを考える、見守り・支え合いネットワーク構築プロジェクト会議にメンバーとして参加した。坂部区をモデル地区として地域の特徴や課題を踏まえ、坂部が目指すまちづくりのイメージを実現するため、8月22日から3月27日までの間、計8回地域住民とワークショップを行った。

④ 福祉施設交流会の充実（8施設）

つくしの家、つくしホーム、さがら作業所、こづつみ作業所、第2こづつみ作業所、地域活動支援センターはぐるま、ワークセンターやまばと、ケアセンターさざんかの通所者を中心に、牧之原市（榛原）・（相良）ボランティア連絡会の協力により交流会を実施した。

【9月14日】相良総合センターい〜ら 参加者 215人

⑤ ふれあい運動会の充実

毎年、地区を変え小学校を会場に年代、障がいの有無に関わりなく交流し、お互いに何かを感じ取ってもらおうと、ボランティア連絡会主催でふれあい運動会を実施した。

【6月16日】坂部小学校 参加者 110人 5福祉施設

⑥ ふれあい広場の充実

牧之原市の保健と福祉の拠点を活かし、子どもや高齢者、障がい者等、住民の誰もが参加し、ふれあいを楽しむことを目的にした「ふれあい広場」の開催に向けて、市内の福祉団体やボランティアグループ等に参加を募り、34の団体から申込みがあった。その参加団体の中から、運営委員会や実行委員会を組織し、10月の第1日曜日に開催した。

特に、本年度は相良高等学校の美術部の皆さんにはポスター等の作成、榛原高等学校サッカー部の皆さんには会場準備・片付だけでなく、高齢者や障がい者の方への介助等、ボランティア活動への参加協力を呼びかけ福祉の啓発に努めた。また、新たに露天商の許可を取得し実施可能な催事内容の拡大を図った。

【10月7日】総合健康福祉センターさざんか 参加団体 34団体 来場者 5,000人

⑦ ちょこっとボラの充実

自分の趣味や特技を活かして、ボランティアに参加できるよう、各種事業やイベント等を利用してPRした。

【やってみっかカード登録者】現在 22人

3. 地域福祉を支える担い手づくり

(1) ボランティア拠点機能の充実と仕組みづくり

① ボランティアニーズ調査の実施

サロン活動や事業実施時、また社協ヘルパーやケアマネ等、あらゆる場面でのニーズ把握に努めた。

② ボランティアコーディネート体制の充実

ボランティア活動者への情報提供や地域との連携を図るよう努めた。

(2) ボランティアの育成と人材の確保

① サロン協力員の育成・充実（4回）

アイデアや情報を得る場、協力員同士が気軽に情報交換が出来る場とすると共に、声かけや見守りを意識的に行うことで、サロンを地域の中でより意味深いものにするために、サロン協力員講習会を開催し地域住民の参加促進を図った。また、円滑にサロンを運営していただくために、情報提供を行った。

【第1回／7月12日】 相良総合センターい〜ら 参加者 32人

私達の地域とサロン〜サロンの魅力を再発見〜

【第2回／7月27日】 老人福祉センター 参加者 19人

サロン発表会〜私達のサロンを紹介します〜

【第3回／8月30日】 総合健康福祉センターさざんか 参加者 28人

みんなで足指体操〜足先の刺激で脳も身体も活性化〜

【第4回／9月13日】 B&G海洋センター 参加者 25人

心も身体もリフレッシュ〜笑顔の秘訣を伝授します〜

② サマーショートボランティアの充実

市内の4福祉施設及び9保育園、2デイサービスセンターで、54人の中・高校生がボランティア活動を行った。

【活動期間】7月31日〜8月25日

③ 小地域福祉活動リーダーの育成

ありがとうのこだま（小地域福祉活動リーダー養成講座受講者）を立ち上げたものの、具体的な活動には至っていないため、改めて勉強会等を実施するなど今後の展開方法を模索している。

④ ボランティア人材バンクの実施

持っている知識や技術、趣味、特技を地域の皆さんのために役立てたい方に、やってみっかカードにより、ちょこっとボラに登録していただいた。また、それを必要としている方々にボランティアを紹介するなどして、出会いのきっかけを作った。

⑤ ボランティア茶話会の開催

ボランティアの皆さんが気軽に集え、日頃思っていることを話せる場、ボランティア情報の提供の場となるよう開催した。

【12月11日】 相良総合センターい〜ら 4人

【12月13日】 総合健康福祉センターさざんか 4人

(3) 災害ボランティアの育成

① 災害ボランティアコーディネーターの育成・充実

災害ボランティアコーディネーター養成講座修了者と災害ボランティアに関心がある市内在住者21名が会員となり、相良総合センターい〜らを会場に毎月第1水曜日に定例会、第4水曜日に役員会を開催した。定例会等では、災害時のマニュアルの検討や本部運営に関する協議などを行った。

【4月11日】牧之原市災害ボランティアセンター総会 20人

【5月9日】今年度の事業展開、会の運営方法の検討 12人

【6月13日】災害時支援ネットの会則構想、本部運営マニュアルの検討 14人

【7月4日】災害時支援ネットワークの会（仮称）、本部運営マニュアルの検討 9人

【8月1日】ボランティアセンター立ち上げ訓練の実施 14人

【9月5日】受け入れ訓練の反省及び手順の確認、ふれあい広場催事内容の検討 13人

【10月2日】さざんかふれあい広場の参加について、災ボラ受付訓練での改善点等 6人

【11月7日】さざんかふれあい広場の反省、災害支援ネットワークの会勧誘について 14人

【12月5日】今年度立上訓練、ボランティアセンターの運営に伴う課題等抽出 13人

【1月9日】HUG訓練 12人

【2月6日】次年度事業計画、立上訓練への参加 12人

【3月6日】次年度事業計画案、定例会の運営 8人

② 災害ボランティアセンター立ち上げ訓練の実施

相良総合センターい〜らを会場に、運営役とボランティア役とに分かれ、本部立ち上げ訓練を実施した。

【第1回／8月1日】相良総合センターい〜ら 参加者14人

【第2回／2月28日】相良総合センターい〜ら 参加者7人

(4) 福祉教育の充実

① 福祉教育学校・施設連絡会の充実

市内の小・中・高等学校の福祉担当教諭・福祉施設職員による連絡会を開催し、福祉教育に関する取り組み等について情報交換を行った。

【第1回／6月28日】相良総合センターい〜ら 参加者26人

福祉教育の推進について、高齢者疑似体験（実際に装着しての体験を実施）

【第2回／3月22日】総合健康福祉センターさざんか 参加者19人

次年度の福祉教育推進について

② 学校での福祉体験学習への支援

片浜小学校、地頭方小学校、川崎小学校、細江小学校、相良中学校、萩間小学校、菅山小学校からの依頼で、講話・車椅子・点字・アイマスク体験等を実施し、福祉体験学習を支援した。

- 【6月18日】片浜小学校5・6年生 7人
- 【7月5日・19日】地頭方小学校4年生 28人
- 【9月3日】川崎小学校5年生 74人
- 【9月11日】細江小学校4年生 28人
- 【9月26日・28日・10月10日・15日・25日】相良中学校3年生 483人
- 【10月2日】萩間小学校4年生 23人
- 【11月1日】菅山小学校3・4年生 54人
- 【11月15日】地頭方小学校 4年生 28人
- 【11月19日】細江小学校4年生 57人
- 【11月28日】榛原高等学校 保健委員会及び保護者
- 【12月19日】坂部小学校3・4年生 33人
- 【3月6日】片浜小学校4・5年生 10人

③ 福祉教育の充実

福祉教育担当教諭及び福祉施設職員と、福祉教育学校・施設連絡会等を通じて、福祉教育の実施方法、内容等について意見交換を行った。

④ 障がい者を理解するための講座の検討

夏休みを利用して、親子で障がいや認知症について学ぶと同時に、福祉施設について知っていただくことを目的に、福祉施設と協働で親子福祉体験教室を開催した。

- 【7月31日】ワークセンターやまばと 参加者5人(2組の親子)
- 【8月21日】特別養護老人ホーム相良清風園 参加者10人(4組の親子)

⑤ 福祉教育ハンドブックの配布・活用

牧之原市の福祉への理解と参加を推進し、福祉教育の充実を図ることを目的に、福祉教育学校・施設連絡会等で検討を重ねて完成させ、小・中・高等学校の教諭及び福祉施設職員等福祉教育関係者に報告・配布した。

【発行部数 200部】

⑥ みんなの描く福祉作品コンクール

福祉の啓蒙を図るため29人の応募を得て、みんなの描く福祉作品コンクールを開催した。

- ◇作文の部 応募者9人
- ◇図画の部 応募者20人

⑦ ふくし何でも相談会の開催

夏休みの期間を利用して、ふくしについて聞きたい、知りたいと思ったことに社協職員が答えました。

- 【8月9日】老人福祉センター 参加者7人
- 【8月17日】相良総合センターい〜ら 参加者0人

⑧ エコキャップ運動の推進

ペットボトルキャップのリサイクル活動に参加することによって、環境や貧困など、世界が直面する様々な課題について、学び、考え、行動する機会を提供する活動を行った。

【回収総重量】 300 kg (10 団体、4 個人)

【回収個数】 129,000 個 (860 個で1人分)

【ワクチン】 150 人分

4. ふくしのまちの基盤づくり

(1) 計画を実施するための財源の確保

① 社協会費 (単位：口)

普通会費(1口 300円)	特別会費 (普通団体・個人1口1,000円) (特別団体 1口5,000円)	賛助会費(1口 5,000円)
11,874口	1,000円 191口 5,000円 4口	174口
3,562,060円	211,000円	870,000円

合計 4,643,060円

② 介護保険事業の経営

牧之原市社協では、介護保険事業として①訪問介護事業(ホームヘルプサービス) ②居宅介護支援事業 ③通所介護事業(デイサービス)の3事業を経営している。今後も地域福祉事業への繰り入れや、社協運営費補助金の減額が予想されるため、経営体制の見直し等を含め経費節減に一層努めた。

(2) 社会福祉協議会の組織体制の充実・強化

① 理事会・評議員会・監査会の開催

会議名	開催日	場 所	出席者	主 な 議 事
第1回 監査	24. 5. 18	相良総合センター い〜ら	2/2	平成23年度決算監査①事業報告②会計経理・資産管理③法人組織・運営
第1回 理事会	24. 5. 28	相良総合センター い〜ら	10/10	(報告1)平成23年度一般会計補正予算(専決) (報告2)平成23年度特別会計就労継続支援B型(さがら作業所)補正予算(専決)(報告3)平成23年度特別会計地域活動支援センターはぐるま補正予算(専決)①評議員の同意②定款変更③平成23年度事業報告の認定④平成23年度一般会計収支決算認定⑤平成23年度就労継続支援B型(さがら作業所)事業報告並びに平成23年度特別会計就労継続支援B型(さがら作業所)決算認定⑥平成23年度地域活動支援センターはぐるま事業報告並びに特別会計地域活動支援センターはぐるま決算認定

第1回 評議員会	24. 5. 28	相良総合センター い〜ら	17/21	(報告1)平成23年度一般会計補正予算(専決) (報告2)平成23年度特別会計就労継続支援B 型(さがら作業所)補正予算(専決)(報告3) 平成23年度特別会計地域活動支援センター はぐるま補正予算(専決)①定款変更②平成 23年度事業報告の認定③平成23年度一般会 計収支決算認定④平成23年度就労継続支援 B型(さがら作業所)事業報告並びに平成23 年度特別会計就労継続支援B型(さがら作業 所)決算認定⑤平成23年度地域活動支援セン ターはぐるま事業報告並びに特別会計地域 活動支援センターはぐるま決算認定
監査員研 修	24. 7. 30	相良総合センター い〜ら	2/2	牧之原市社会福祉協議会の経営する全事業 所(10カ所)を視察し、事業所の事業実施状況 の報告を受けた。
第2回 監査	24. 11. 29	相良総合センター い〜ら	2/2	平成24年度前期分監査①事業報告②会計経 理・資産管理③法人組織・運営
第2回 理事会	24. 12. 4	相良総合センター い〜ら	10/10	⑦評議員の同意⑧定款変更⑨平成24年度一 般会計補正予算(案)(第1号)
第2回 評議員会	24. 12. 6	相良総合センター い〜ら	18/21	⑥定款変更⑦平成24年度一般会計補正予算 (案)(第1号)
第3回 理事会	25. 3. 27	相良総合センター い〜ら	10/10	⑩就業規程の一部改正⑪給与規程の一部改 正⑫パートタイマー等の給与規程の一部改 正⑬経理規程の一部改正⑭処務規程の一部 改正⑮公印規程の制定⑯パートタイマー等 の就業細則の制定⑰平成24年度一般会計補 正予算(案)(第2号)⑱生活支援センター事 業について⑲平成25年度事業計画(案)⑳平 成25年度一般会計予算(案)
第3回 評議員会	25. 3. 27	相良総合センター い〜ら	13/21	⑧就業規程の一部改正⑨給与規程の一部改 正⑩パートタイマー等の給与規程の一部改 正⑪経理規程の一部改正⑫処務規程の一部 改正⑬公印規程の制定⑭パートタイマー等 の就業細則の制定⑮平成24年度一般会計補 正予算(案)(第2号)⑯生活支援センター事 業について⑰平成25年度事業計画(案)⑱平 成25年度一般会計予算(案)

(3) 人材の育成と確保

① 人材の掘り起こし講習会の検討

社協の各現場事業所から構成される在宅福祉部会の中で、今後の人材育成などについて検討した。

② 社協職員研修(危機管理)の実施

昨年度の近隣市町社協の不正などを受け、今社協として改めてその信頼が問われているため、研修部会の企画により相良総合センターい〜らを会場に、社協内部研修を行った。

- 【5月24日】相良総合センターい〜ら 参加者 55 人
 (内容) 社協職員としての心構え (グループワーク)
- 【6月14日】相良総合センターい〜ら 参加者 60 人
 (内容) 社協職員としての意識について
 講師：小山町社会福祉協議会 事務局長 原 秀人氏
- 【8月22日】老人福祉センター 参加者 45 人
 (内容) 災害ボランティアセンター立ち上げ訓練 (本部運営、特例貸付)
- 【11月16日】総合健康福祉センターさざんか 参加者 53 人
 (内容) 苦情対応について
 講師：株式会社たこ満 相談役 平松 きよ子氏
- 【2月28日】相良総合センターい〜ら 参加者 40 人
 (内容) 災害ボランティアセンター立ち上げ訓練 (本部運営)

(4) ネットワークの形成と充実

① 障がい児 (者) 福祉団体への支援

牧之原市の青年学級やひまわり会 (障がい児を持つ親の会) の活動推進、発展を図るため、補助を行った。

② ボランティア活動への支援

ボランティア活動を活発化させるため、社協にボランティアコーディネーターを置き、ボランティア連絡会を中心とした活動の活発化を図った。

ボランティア連絡会

〔相良地区〕

個人登録方式を生かし、ボランティアを必要としている人たちのニーズに応じるため、部会と参加者の増加推進を図り、つくしの家、つくしホーム、こづつみ作業所・第2こづつみ作業所などの施設や視覚障がい者、ひとり暮らし高齢者などのために諸活動を展開した。また、各活動分野ごとに部会を開催し、研修を行った。

【登録実人員】37人 【延べ登録人数】54人

NO	部会名	人数	主な活動場所	活 動 内 容
1	作業部会	12人	こづつみ作業所	陶器の転写紙貼り、下請け部品組立作業手伝い・各行事への協力
			第2こづつみ作業所	下請け部品組立作業手伝い・各行事への協力
2	介助部会	6人	つくしの家・つくしホーム	パターニングの手伝い・各行事への協力、園外療育 (主に散歩) の手伝い・各行事への協力
3	ガイドヘルパー部会	1人	市内外	視覚障がい者のガイドヘルプ (会合・研修旅行等催しの際の介助)
4	幼児部会	5人	い〜ら他	のびのび子育て井戸端会議への協力

5	在宅部会	7人	自宅・い〜ら	ひとり暮らし高齢者給食サービスに添える折り紙製作
6	調理部会	11人	保健センター・い〜ら	毎月2回のひとり暮らし高齢者給食サービス・年2回のふれあい食事会の調理
7	配食部会	7人	市内	ひとり暮らし高齢者給食サービスを民生委員宅への配食
8	社協部会	5人	い〜ら・市内	ふれあい食事会への協力・相良デイサービスセンターへの協力

【榛原地区】

ボランティア連絡会は、会長1人、副会長2人、会計1人、監事1人、理事7人の役員構成となっている。事務局運営は、各ボランティアグループの代表者で構成、運営されている。

【登録グループ】12グループ 【会員数】207人

NO	グループ名	人数	主な活動場所	活 動 内 容
1	オムレツくらぶ	24人	さざんか栄養指導室	ひとり暮らし高齢者等への給食サービス
2	おはなシクラブ	20人	児童館 市内小学校	おはなし会等の開催、朗読劇等の企画・上演、市内小学校での読み聞かせ、児童クラブ催し物等への協力
3	音訳サークルやまびこ	5人	さざんか録音室	目の不自由な方へ、市の広報誌をテープに吹き込む
4	手話サークルフレンド	9人	さざんかボランティア室	手話を覚える。ろうあ者との交流
5	夢づくり	5人	細江コミュニティセンター	布のおもちゃ作り
6	かえで	8人	老人福祉センター、うたしあ	高齢者活動サポート（サロン活動・高齢者介護施設でのお話相手）
7	静波海岸ボランティアの会	31人	市内	静波海岸周辺（保安林等）の整備
8	運転サービスグループ「どこでもカー」	18人	市内	障がい者に係わる運転ボランティア
9	生きがいリーダー連絡協議会	50人	市内	介護予防や健康作りのための教室を開催
10	牧之原市まちづくり実行隊	12人	市内	子ども、環境、福祉、交流グループに分かれよりよいまちづくりをめざす
11	茶っこクラブ	15人	市内	健康づくり活動、花の会活動、手芸活動
12	チャンスの会	10人	市内	出会いの場の提供

③ 静岡県下市町社会福祉協議会の集い しずおか社協全体会議に職員を派遣

今、社協に求められる使命・役割を共有し、社協活動の活性化及び連携の強化を図るとともに、職員の士気の高揚を図ることを目的に、牧之原市社協から職員を1人派遣した。

【派遣期間】平成24年9月18日～平成25年3月31日

【実行委員会】1回

5. その他

(1) 介護保険事業のサービス内容の充実

① 居宅介護支援事業

ケアマネジャー 常勤8人（相良4人・榛原4人[主任ケアマネジャー資格、各1人]）がケアプランを作成した。（相良1月より常勤3人非常勤1人）

【相良居宅介護支援事業所】

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
介護保険	130	131	126	130	134	136	133	131	129	115
介護予防	21	20	22	22	23	20	20	19	19	8
合 計	151	151	148	152	157	156	153	150	148	123

2月	3月	合 計
115	113	1,523
9	8	211
124	121	1,734

【榛原居宅介護支援事業所】

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
介護保険	126	124	127	127	122	124	127	131	125	132
介護予防	15	17	17	17	17	18	18	18	17	18
合 計	141	141	144	144	139	142	145	149	142	150

2月	3月	合 計
124	124	1,513
18	19	209
142	143	1,722

② 訪問介護事業

訪問介護員（ホームヘルパー）常勤と非常勤の登録ヘルパー、相良地区20人（介護福祉士9人・ヘルパー2級11人）榛原地区18人（介護福祉士8人・ヘルパー1級1人・ヘルパー2級9人）が、家庭を訪問して身体介護、生活援助サービスを実施した。

〔相良ホームヘルプサービス事業所〕

区 分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
身体介護	時間	288.0	312.0	264.0	283.0	307.0	282.5	293.0	280.0
身体・生活	時間	93.66	42.0	61.0	85.5	61.16	64.0	83.16	77.0
生活援助	時間	245.0	253.5	218.5	238.0	222.5	201.0	201.45	186.5
合 計	時間	626.66	607.5	543.5	606.5	590.66	547.5	577.61	543.5
利用者数		46	44	40	41	44	43	44	45

12月	1月	2月	3月	合 計
262.0	198.5	217.0	227.0	3,214.0
50.5	19.83	34.6	42.5	714.91
215.25	220.25	199.75	207.0	2,608.7
527.75	438.58	451.35	476.5	6,537.61
46	44	47	45	529

〔榛原ホームヘルプサービス事業所〕

区 分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
身体介護	時間	269.5	378.0	316.0	335.0	346.0	339.0	377.5	383.5
身体・生活	時間	232.5	155.5	119.0	71.5	59.5	61.0	93.0	95.5
生活援助	時間	39.0	52.0	99.5	107.5	118.25	114.25	117.5	113.25
合 計	時間	541.0	585.5	534.5	514.0	523.75	514.25	588	592.25
利用者数		47	47	48	48	45	46	48	47

12月	1月	2月	3月	合 計
374.5	372.0	331.5	311.0	4,133.5
117.0	134.0	118.0	126.5	1,383.0
136.0	127.5	152.5	149.5	1,326.75
627.5	633.5	602.0	587.0	6,843.25
47	52	51	51	577

③ 通所介護事業（デイサービスセンター）

家庭で介護しているお年寄りを日中預かり、送迎、健康チェック、入浴、昼食、レクリエーションや創作活動などを行った。

〔相良デイサービスセンター〕 ・職員体制 職員数 25人（介護福祉士9人、ヘルパー2級10人、看護師3人、その他3人）

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
延べ利用者数	773	824	805	829	873	776	883	836
利用者数	89	89	87	85	88	89	89	88

12月	1月	2月	3月	合計
785	763	817	899	9,863
86	84	84	85	1,043

〔デイサービスセンターうたり〕 ・職員体制 職員数 31 人 (介護福祉士 4 人、ヘルパー2 級 16 人、看護師 4 人、調理師 3 人、管理栄養士 1 人、その他 4 人)

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
延べ利用者数	846	883	854	861	881	865	932	854
利用者数	72	75	76	73	73	74	74	75

12月	1月	2月	3月	合計
794	782	751	834	10,133
74	75	74	70	887

④ 利用料の減免措置

社協の訪問介護事業、通所介護事業を利用している利用者の中で低所得者に対して減免措置を行った。

〔相良ホームヘルプサービス事業所〕

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
訪問介護	人数	1	1	1	1	1	1	1
	金額	634	634	611	366	343	428	366

12月	1月	2月	3月	合計
1	1	1	1	12
489	550	366	489	5,704

〔榛原ホームヘルプサービス事業所〕

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
訪問介護	人数	4	4	4	4	4	4	3
	金額	8,295	8,280	5,401	2,646	3,076	3,223	3,553

12月	1月	2月	3月	合計
4	4	4	4	47
5,262	5,135	4,501	4,657	57,379

〔デイサービスセンターうたり〕

区 分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
通所介護	人数	1	1	2	2	3	3	3	3
	金額	3,573	4,019	4,962	6,377	8,825	8,723	9,986	9,448

12月	1月	2月	3月	合 計
3	3	,3	3	30
8,218	7,895	7,066	8,952	88,044

〔相良デイサービスセンター〕

区 分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
通所介護	人数	1	1	1	1	1	1	1	1
	金額	4,285	4,285	4,285	4,285	4,285	4,285	4,285	4,285

12月	1月	2月	3月	合 計
1	1	1	1	12
4,285	4,285	4,285	4,285	51,420

- ⑤ 介護サービス事業所連絡会への参加
- ⑥ ケアマネ連絡会への参加（隔月開催）

（2）上記以外の事業の開発と充実

- ① 障がい福祉サービス事業（居宅介護、重度訪問介護、行動援護、同行援護）の実施
居宅介護員（ホームヘルパー）が、身体障がい者や知的障がい者及び精神障がい者のいる家庭を訪問して身体介護、家事援助サービスを実施した。

〔障がい福祉サービス 相良〕

区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
身体介護	時間	154.0	168.5	130.5	166.0	181.5	174.0	176.0	169.0
家事援助	時間	291.5	298.0	295.8	304.0	316.0	295.0	330.0	299.0
通院介助	時間	2.5	3.0	1.5	3.5	2.0	2.0	1.0	3.0
同行援護	時間	9.5	11.0	8.5	8.0	5.0	7.5	8.0	13.5
重度訪問介護	時間	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	時間	457.5	480.5	436.3	481.5	504.5	478.5	515.0	484.5
利用者人数	人	25	25	25	25	25	25	25	27

12月	1月	2月	3月	合計
175.0	171.0	169.5	179.5	2,014.5

298.0	289.0	289.0	239.5	3,544.8
1.5	4.0	4.0	5.0	33.0
7.5	7.0	7.0	9.5	102.0
0	0	67.0	74.0	141.0
482.0	471.0	536.5	507.5	5,835.3
27	26	27	28	310

〔障がい福祉サービス 榛原〕

区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
身体介護	時間	17.5	17.0	16.0	15.5	14.5	8.5	12.5	16.5
家事援助	時間	143.5	149.0	140.0	112.5	119.0	100.0	123.0	105.25
通院介助	時間	1.0	1.0	1.5	1.5	2.5	1.5	1.5	1.0
同行援護	時間	20.0	25.5	17.5	20.5	18.0	19.5	19.5	20.0
合 計	時間	182.0	192.5	175.0	150.0	154.0	129.5	156.5	142.75
利用者人数	人	23	23	21	22	20	20	20	18

12月	1月	2月	3月	合計
17.0	15.0	12.5	16.0	178.5
98.0	104.0	101.75	111.25	1,407.25
1.0	1.0	1.0	1.0	15.5
16.5	17.0	16.5	21.0	231.5
132.5	137.0	131.75	149.25	1,832.75
18	18	19	19	241

② 共同募金配分金事業の実施

赤い羽根共同募金

平成24年度の一般募金、歳末たすけあい募金に、市民の皆様から広くご協力をいただくために、自治会行政連絡会や町内会長会議に出席し、共同募金の仕組みや使い途について説明し、必要性を訴えた。

募金期間：10月1日～12月31日

種 別	金 額	備 考
戸別募金	3,707,045 円	11,769 世帯
法人募金	1,648,500 円	
街頭募金	40,626 円	ふれあい広場
学校募金	117,219 円	10 小学、3 中学、2 高校
職域募金	35,334 円	静銀、市役所、社協
その他の募金	33,901 円	社協窓口、自販機他
合計	5,582,625 円	

(実施した事業)

○高齢者のために

- ・ひとり暮らし高齢者への給食サービス (毎月 2 回)

○障がい児者のために

- ・障がい児を持つ親の会 (ひまわり会) への助成
- ・牧之原市青年学級への助成
- ・福祉施設交流会の開催 (通所者とその家族を対象とした交流会)

○子どもたちのために

- ・のびのび子育て井戸端会議 (子育て中の親と乳幼児を集め、情報交換や交流)
- ・牧之原市子ども会連絡協議会への助成

○福祉育成・援助・ボランティアのために

- ・ふくしだよりの発行 (毎月 15 日自治会を通じて配布)
- ・ふれあい広場の開催 (約 5,000 人来場)
- ・明るい社会づくり運動静岡県牧之原市榛原地区協議会・相良地区協議会への助成

歳末たすけあい募金

昨年度から申請方式に移行し実施したが、2年目を迎えるにあたり民生委員児童委員を対象に歳末援護事業についてアンケート調査を実施した。そして、その結果をもとに両地区より検討委員を選出いただき検討会を開催し、事業の改善を図った。

募金期間：12月1日～12月31日

種別	金額	備考
戸別募金	1,000,365 円	11,864 世帯
その他	2,619 円	民踊互助他
合計	1,002,984 円	

(実施した事業)

○経済的に支援が必要な方々のために

- ・歳末慰問金の贈呈 76 人

○ひとり暮らし高齢者のために

- ・歳末おせちセットの配付 392 人

(3) 指定管理施設の管理

① 指定管理施設

牧之原市から介護予防拠点施設の指定管理者として指定され施設の管理を行った。

〔介護予防拠点施設 相良いきいきセンター施設利用状況〕

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
回数	45	46	46	50	55	44	45	46
人数	349	304	334	338	362	330	309	362

12月	1月	2月	3月	合計
43	40	45	48	553
366	364	372	387	4,177

※相良デイサービスセンターとデイサービスセンターあたりの施設利用状況は 30～31 ページに掲載。

② 管理業務受託施設

平成 24 年 4 月 1 日から牧之原市より相良総合センター管理業務の一部を受託し施設管理を行った。

〔相良総合センター施設利用状況〕

区 分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
ホール	回数	10	23	15	16	20	13	16	28
	人数	1,968	3,041	2,946	2,608	1,950	811	3,222	5,790
会議室	回数	41	52	52	60	58	56	53	58
	人数	768	856	849	1,257	1,764	1,066	1,021	1,511
合 計	回数	51	75	67	76	78	69	69	86
	人数	2,736	3,897	3,795	3,865	3,714	1,877	4,243	7,301

12月	1月	2月	3月	合計
22	19	23	32	237
3,968	2,872	4,527	4,728	38,431
48	47	45	56	626
953	1,431	2,190	1,291	14,957
70	66	68	88	863
4,921	4,303	6,717	6,019	53,388

(4) 当事者組織等の育成

以下の団体を助成、及び指導協力した。

- ① 老人クラブ連合会への自主的活動の支援
- ② 身体障がい者福祉会への助成と自主的活動の支援
- ③ 知的障がい児（者）保護者の会「手をつなぐ育成会」「ひまわり会」への助成と自主的活動の支援
- ④ 精神障がい者家族の会「NPO法人精神保健福祉みどり会」への助成と自主的活動の支援
- ⑤ 遺族会への助成と自主的活動の支援
- ⑥ 戦没者追悼式慰霊大祭への協力
- ⑦ 断酒会への助成と自主的活動の支援
- ⑧ 子ども会への助成と自主的活動の支援

(5) 支援組織との連携

- ① 民生委員児童委員協議会との連携
- ② ボランティア連絡会への助成と連携
- ③ 災害ボランティアコーディネーターへの助成と連携
- ④ 保護司会への助成と連携
- ⑤ 更生保護女性会への助成と連携